

卒業生は今……

漁業高等学園では、昭和45年の設立以来昨年度までの卒業生は約860名に達し、様々な漁業で活躍しています。そこで、卒業生が、今、どんな漁業に携わっているのか、就業してどんな感想を持ったかなど、紹介します。

No.15 Sくん（平成25年3月卒・現22歳） 遠洋鯉一本釣り漁船

Q. 仕事の内容は？

- * 今の時期はビンナガマグロの一本釣りを行っています。
- * 船内では機関員として、一人で機関当直を取っている
- * 機関当直は3時間当直で、21～24時、0～3時の当直を行った次の日は機関当直が休みとなる。

Q. 大変なことは？

- * 大漁の時は、寝る時間が少なくなる。
- * 釣った魚をブライン凍結（塩分の濃い液）で凍らせるが、凍結の終わった魚艙の魚を空いている別の魚艙に魚を移す作業（シフト）が大変である。朝は、日の出前から前日に釣った全ての魚をシフトする。
- * 今航海は、機関当直の終わり頃に、冷凍装置からガス漏れがあり、修理が終わり寝られる時間が2～3時間しか残ってなく大変であった。

Q. 良いこと、楽しいことは？

- * やはり、魚を釣っている時が一番楽しい。今航海は二日で100トンを釣った時は楽しかった。また、航海日数、水揚げ金額等によって、少しですがボーナスが出る。

Q. 学園在学中の思い出は？

- * 全てが楽しい思い出です。

Q. 学園で学んだ（身に付けた）ことで、現場で役立っていることは？

- * 実習で行った色々なロープの結び方が今でも役に立っている。

☆. 在校生へのアドバイス

- * 仕事は自分から積極的に動かないと、外人に仕事を取られてしまう。外人より早く行動し、仕事を取られないようする事が必要である。



（平成26年6月9日）